

訓練参加者と協力して、高齢者を検索！

照沼小学校区で「認知症徘徊模擬訓練」

●問い合わせ 地域包括支援センター(☎287-2525)

認知症高齢者等が徘徊により行方不明になった場合を想定した「認知症徘徊模擬訓練」が、10月23日、照沼小学校区で行われました。

村松コミュニティセンターに捜索指揮所を設け、「あんしん・おかえりネットワーク」を活用して協力者にメールを一斉配信するなど、一般の皆さんにもご協力をいただきながら行われた訓練の様子と、今後の課題等について報告します。

訓練の流れ

①行方不明者の発生を想定し、行方不明者役が区内を移動



おやおや、高齢者が大きな道をフラフラと歩いておるぞ…。気を付けてください！



②メールや防災行政無線等で、地域住民や協力団体へ行方不明者の情報を配信



おばあさんがいないことに気付いて、地域の皆さんが搜索を始めたようですネ！



③地域住民等の協力により、行方不明者役を搜索、発見・保護



地域の方からの通報で、無事に所在が確認されたようじゃな。よかった、よかった！



訓練に参加した感想は？

【良かった点】

- 認知症高齢者への声掛けの練習になった。
- 認知症の理解と啓発にも有効だと思う。
- メールに、声の掛け方が記載されていたのが良かった。

【気付いた点】

- 休日にも訓練があるとよい。
- 訓練は、繰り返し行うことが大切。各地域ごとに継続的に実施してほしい。
- 搜索班をつくることを、防災行政無線放送等で周知した方がよい。

これからの課題

①行方不明者を早期に発見・保護するためには、地域の皆さんの理解と協力が重要

→認知症に関する知識や接し方について普及啓発する活動を、継続的に実施します！

地域包括支援センターでは、地域で生活する認知症の方をさりげなく見守る役割を担う、認知症サポーターの養成講座を開催しています。認知症について正しい理解と知識を持つ認知症サポーターを増やしながら、地域で生活する認知症の方と、その家族を支えます。

②迅速で正確な情報配信が大切

→メール・ファクシミリの情報内容を統一します！

地域包括支援センターからメールやファクシミリで行方不明者の情報を配信する際は、搜索者の混乱を防ぐために情報の統一と連携に注意しながら、行方不明者の早期発見・保護を目指します。

「あんしん・おかえりネットワーク」のメール登録者を募集しています

※登録方法は、「nagomi@amh.jp」へ空メールを送るか、右のQRコードからアクセスしてください。
※登録ができない方は、地域包括支援センターへ、ご相談ください。

